

平成 29 年度

特定非営利活動法人かわうそ復活プロジェクト

総会 資料

平成 29 年 5 月 18 日

八幡浜みなと みなと交流館 多目的ホール

平成 28 年度事業報告

平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

1. 特定非営利活動に係る事業

以下の事業を行いました。

①自然・環境学習事業

- ・三浦保・愛基金の助成金を受けて、「愛媛県南予地方 川虫ハンドブック」と「改訂版 八幡浜の川の魚図鑑」を、インターネット環境から調べることができるように、Web ページ化しました。
- ・一般向けの勉強会として「自然に学ぶつどい」を、2/9(土)に「みなと交流館」多目的ホールにて、「身近な危険生物」をテーマに、面河山岳博物館 矢野真志学芸員にお話していただきました。
- ・定例観察会として、大洲城山周辺で毎月第 2 日曜日に観察会を継続的に開催しました。4 月から 11 月の実施分は、えひめいやしの南予博 2016 の体験イベントとして登録し、南予博自主企画プログラム推進事業助成金を申請して、観察会で使える双眼鏡 22 台を購入しました。
- ・学校に向けて、総合学習などの自然体験活動へ講師を派遣しました。支援先は、大洲市立平小学校、大洲市立肱川小学校、内子町立内子小学校、内子町立立川幼稚園、県立大洲農業高校など。また、八幡浜市内の「緑の少年団」(小学生対象)の自然体験活動に岩田代表が講師を行いました。2/8 の内子子ども環境会議で、小中学生向けに、「内子にいるセミは何種類？」と題して、松田がお話ししました。
- ・地域で行われる観察会に講師を派遣しました。支援先は、内子町大瀬自治センターと五十崎自治センター、元気わくわく川まつり、西予市内子町伊賀上地区、大洲市役所肱川支所など。
- ・八幡浜市民スポーツセンターで 11/12(土)に開催された「青少年のための科学の祭典」にブースを出展し、自然の不思議さや大切さを普及しました。ブース内容は、「身近な鳥の見分けパズル」として、身近な鳥たちの体の部分を 3 つに分けたパズルをしていただきました。
- ・八幡浜市役所で 6/3(金)に行われた八幡浜市鳥獣被害防止対策協議会に出席して、「イノシシの撮影頻度とニホンジカについて」お話ししました。

②自然・公園管理事業

- ・平成 23 年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われ、その後の管理作業に協力しました。

③自然修復・再生事業

- ・身近な水環境一斉調査(全国水環境マップ実行委員会主催)に協力するかたちで、河川等の水質調査を行いました。
- ・千丈川および喜木川・宮内川などの八幡浜市の河川の魚類の調査を継続して行いました。「改訂版 八幡浜の川の魚図鑑」のWeb化に向けて、川名津の川上大川で、魚調査を補完的に行いました。
- ・「愛媛県南予地方 川虫ハンドブック」のWeb化に向けて、水生昆虫の写真撮影を小田川と千丈川で補完的に行いました。
- ・矢落川のオオフサモ(特定外来種)の除去実験を、大洲河川国道事務所 肱川出張所と大洲農業高校に協力して行っており、経過を観察しました。
- ・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」で、環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、生物調査を実施しました。調査項目は、植物相、チョウ類、鳥類、ホタル類(以上ラインセンサス方式)、中・大型哺乳類(センサーカメラを使用)の5項目。
- ・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続中です。また、八幡浜市のセンサーカメラ4台の運用を委託で受け、継続中です。
- ・北上しているニホンジカの個体群の動向の調査を、中・大型哺乳類のノウハウを利用して継続中です。
- ・ナベヅルの越冬の際に使用する「ねぐら」について、センサーカメラを用いて調査しました。前年度の調査内容を、ラムサールシンポジウム 2016 in 中海・宍道湖にて、「愛媛県西予市におけるナベヅルのため池、冬期湛水田の利用について」と題して、公益財団日本野鳥の会の職員らと連名でポスター発表しました。
- ・タンポポ調査・西日本 2014 に協力するかたちで行ったタンポポ調査の中から、八幡浜市と伊方町のまとめを行い、町見郷土館研究紀要に投稿しました。
- ・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力しました。内容としては、平岡の柿原川でゲンジボタル、袋口の麓川でゲンジボタルとヘイケボタルの調査を行いました。また、内子町立の小学生に向けて、蝉取りのアンケートを行い、クマゼミの増えた時期について、まとめました。
- ・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託を受け実施しました。調査項目は、鳥類、魚類、カニかごで、3/2(木)に住民の方向けに、調査結果を報告しました。
- ・内子町で行っていたセミの抜け殻調査をまとめて、「抜け殻調査による愛媛県内子町におけるセミの分布状況」と題して、南予の自然誌を掲載している「南予生物」に、西条自然学校の今川義康さんと連名で投稿しました。

平成28年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

特定非営利活動法人 かろうそ復活プロジェクト

科 目	実 績	備 考
I 収入の部		
1 事業収入		
自然・環境学習事業	49,306	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	0	
助成金申請事業1	490,000	三浦保「愛基金」
助成金申請事業2	495,000	南予博自主企画プログラム 推進事業助成金
八幡浜市委託事業	99,360	センサーカメラ調査維持関連業務
大洲市委託事業	0	肱川支所オシドリ関連調査業務
調査委託事業	150,000	内子小田川調査業務
2 寄付金等収入		
寄付金収入(法人)	0	
寄付金収入(個人)	130,000	
3 雑収入		
受取利息	3	
当期収入合計(A)	1,413,669	
前期繰越収支差額	266,678	
収入合計(B)	1,680,347	
II 支出の部		
1 事業費		
自然・環境学習事業	75,384	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	97,555	
助成金申請事業1	490,000	三浦保「愛基金」
助成金申請事業2	495,000	南予博自主企画プログラム 推進事業助成金
大洲市委託事業	0	肱川支所オシドリ関連調査業務
調査委託事業	120,000	内子小田川調査業務
2 管理費		
保険費	24,000	2年分
消耗品費	28,956	
図書費	1,860	
会議費	8,469	
運営費	63,532	
当期支出合計(C)	1,404,756	
当期収支差額(A)－(C)	8,913	
次年度繰越収支差額(B)－(C)	275,591	

(単位:円)

平成28年度の収支決算について監査したところ、会計帳簿、貯金通帳、現金、領収書等の処理が適正に行われていることを認めます。

29年4月19日

監査場所: 法人事務所

会計監査

中田博文 

平成28年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金貯金			
現金 現金手許有額	10,152		
普通預金 伊予銀行／八幡浜支店	265,439		
流動資産合計		275,591	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			275,591
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			275,591

(単位:円)

平成28年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成29年3月31日決算

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金貯金	275,591		
流動資産合計		275,591	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			275,591
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		266,678	
当期正味財産増加額		8,913	
正味財産合計			275,591
負債及び正味財産合計			275,591

(単位:円)

中期事業計画

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

- ①自然観察を行う際に名前を知ることが親しみもつことに有効である。
地域（南予）のかたが身近な生きものを見分ける道具となる地域限定の図鑑を少しずつ整備していく。
- ②住民みずから生きものにぎわいを実感することが必要である。
住民自らが、身近な自然を調べ、長期で見守るための手法を実地で行いながら学ぶ。

平成 29 年度事業計画（案）

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

1. 特定非営利活動に係る事業

以下の事業を行う。

① 自然・環境学習事業

- ・「小田川の魚図鑑」の作成・配布します。三浦保・愛基金に助成金を申請中。
- ・「愛媛の身近な鳥図鑑 -山野編-」を発行するために、写真を募集し、解説文を書いて、ページの編集を行います。申請していた セブン-イレブン記念財団から活動助成の決定通知をいただいています。
- ・定例観察会（毎月）として、大洲城山で、第 2 日曜日に観察会を継続して行います。
- ・一般市民向けの勉強会として、「自然に学ぶつどい」を実施します。
- ・学校に向けて、総合学習などの自然体験活動の支援を行います。
- ・地域で行われる観察会に講師を派遣します。
- ・八幡浜市で開催される「青少年のための科学の祭典」に出展し、自然の不思議さ、大切さを普及します。

②自然・公園管理事業

- ・行政関係からの公園等の保全に係る受託事業を受けられるように提案を行います。
- ・平成 23 年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われました。その事業後の管理作業に協力します。

③自然修復・再生事業

- ・「身近な水環境一斉調査」に協力するかたちで、河川等の水質調査を行い、再生事業などに役立てます。なお、身近な水環境一斉調査は 2004 年の第一回から継続して参加しています。
- ・河川工事における生物救出作戦を実施します。
- ・千丈川および喜木川・宮内川などの八幡浜市の河川の魚類の調査を継続して行います。
- ・小田川の魚類の調査を行います。
- ・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」の生物調査を実施し、ノウハウの蓄積をします。環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、植物相，チョウ類，鳥類，中・大型哺乳類の調査項目について 2009 年から調査を継続中です。2013 年から、植生図（人為的インパクト）とホタル類の調査項目を追加しました。さらにノウハウの蓄積を行います。なお、「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」が水環境とカエル類の調査項目を行っているので、南予で里地調査のカヤネズミ以外の調査項目が行われています。
- ・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続します。また、八幡浜市のセンサーカメラ 4 台の運用を委託で受け継続します。
- ・北上しているニホンジカの動向調査を継続します。
- ・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力します。主にホタル類と赤とんぼ類の調査を行います。
- ・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託があれば、継続して実施します。調査項目は、鳥類，魚類，カニかご。

平成28年度 特定非営利活動に係る事業 予算案
 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)

特定非営利活動法人 かろうそ復活プロジェクト

科目	金額	備考
I 収入の部		
1 事業収入		
自然・環境学習事業	50,000	
自然・公園管理事業	5,000	
自然修復・再生事業	5,000	
助成金事業(三浦保愛基金)	500,000	「小田川の魚図鑑」の作成・配布 申請中
助成金事業 (セブン-イレブン記念財団『活動助成』)	1,456,440	愛媛の身近な鳥図鑑-山野編-発行 助成決定
調査委託事業1	150,000	内子小田川調査業務
調査委託事業2	99,000	八幡浜市哺乳類調査
2 寄付金等収入		
寄付金収入	10,000	
3 雑収入		
受取利息	5	
当期収入合計(A)	2,275,445	
前期繰越	275,591	
収入合計	2,551,036	
II 支出の部		
1 事業費		
自然・環境学習事業	40,000	学ぶつどい等
自然・公園管理事業	5,000	
自然修復・再生事業	30,000	
助成金事業(三浦保愛基金)	508,960	「小田川の魚図鑑」の作成・配布 申請中
助成金事業 (セブン-イレブン記念財団『活動助成』)	1,626,440	愛媛の身近な鳥図鑑-山野編-発行 助成決定
調査委託事業1	100,000	内子小田川調査業務
2 管理費		
保険費	0	平成28年度に支払い済み
消耗品費	10,000	
図書費	2,000	
会議費	3,000	
運営費	70,000	
3 予備費	155,636	
当期支出合計(B)	2,395,400	
当期収支差額(A)-(B)	-119,955	
当期支出合計	2,551,036	

(単位:円)